

卸電力取引所の市場監視業務等の在り方について

(趣旨)

卸電力取引所の市場監視体制については、取引規模の拡大や新たな市場開設などの取組によって、卸電力取引所の各市場における公正な取引を確保する必要性が増大している。

以上を踏まえ、諸外国の電力取引所等の状況等を調査の上、市場監視業務及び取引参加者の資格審査、制裁その他個別事業者の監督といった業務も含め、今年度中を目処に、中立性・独立性を確保しつつ、その機能を向上させるための体制を検討することを卸電力取引所に求めることについて審議いただく。

主なポイント

近時の日本卸電力取引所における取引規模の著しい拡大やベースロード市場の開設をはじめとする新たな市場開設などの取組みによって、卸電力取引所における各種市場の公正な取引を確保する必要性が増大している。また、それによって、取引参加者の信頼を確立することで、さらなる流動性の向上等にも寄与することが期待される。

今後の日本卸電力取引所における市場監視業務及び取引参加者の資格審査、制裁その他個別事業者の監督に類する業務を行う体制について、現時点では何らかの具体的な問題行為が生じている訳ではないものの、今後より一層、中立性、独立性を向上させていくために、既存体制の点検や所要の体制整備を行っていくことが望ましい。

以上を踏まえ、必要に応じて、諸外国の電力取引所等の状況等を調査の上、市場監視業務及び取引参加者の資格審査、制裁その他個別事業者の監督といった業務も含め、今年度中を目処に、中立性・独立性を確保しつつ、その機能を向上させるための体制を検討することを、卸電力取引所に別紙のとおり要請いたしたい(資料5-1)。